



## 年頭の「ごあいさつ」

鶴岡市農業委員会

会長 渡部長和

新年あけましておめでと  
うございます。皆様にはご  
健勝で新年を迎えられたこ  
とと心よりお慶び申し上げ  
ます。

近年、農業従事者の高齢  
化や人口減少、食生活の変  
化などにより米の消費量が  
年々減少していく中、稲作  
を主体とする本市の農業経  
営は依然として厳しいもの  
があります。特に平成30年  
産米からの米政策の大改革  
により、これまでの「生産  
目標」は「生産の目安」に  
転換され、米の直接支払交  
付金は廃止となり、水田農  
業に取り組む農業経営者は  
大きな変革期を迎えること  
になりました。

そうした中、昨年は7月  
の高温少雨に始まり、8月  
の大雨・洪水、9月の台風  
による暴風被害など異常気  
象に見舞われ、作況指数95  
となり農家にとっては大打  
撃となりました。

農業を取り巻く情勢が大  
きく変化する中、農業委員  
会では農地利用の最適化を

推進するため、農地の集約  
事業に取り組んでおり、一  
昨年モデル事業を実施した  
藤島の八栄島地区では、約  
6分の分散ほ場の集約を実  
現しました。今後こうした  
取り組みを全市に広げてい  
くことで、コストの軽減や  
作業効率の向上に繋がるも  
のと期待しているところで  
す。一方、中山間地では高  
齢化による農地の移動など  
が多くありますが、コミユ  
ニティや農地を維持するた  
めにも、小規模農家も含め  
た多様な経営体意欲を持  
つて農業に取り組める環  
境が必要であると考えます。

他地域から庄内に来て美  
田を見ると「感動する」と  
良く言われます。この景観  
を損なわないよう、農業委  
員・農地利用最適化推進委  
員が力を合わせて本市農業  
振興に取り組んでいきます。  
本年も皆様にとってより  
良き年になるよう祈念し、  
あいさつとさせていただきます。

## 皆川市長へ 建議・要望書を提出

農業委員会では、農業に  
関する課題を行政に反映し  
てもらうため、現場の声を  
市及び国・県等の関係機関  
へ伝える活動を行っていま  
す。

10月24日に開催された第  
3回定例総会では、以下の  
4件の建議・要望が提案さ  
れ、全て原案のとおり可決  
されました。

- 平成31年度鶴岡市農業振  
興施策予算に関する建議書
- 農地中間管理事業の改善  
に関する要望書
- 河川の整備に関する要望  
書



■学校給食の鶴岡産食材使  
用推進に関する要望書

総会で決議された市長あ  
ての建議・要望書について  
は、11月27日、農業委員四  
役が皆川治市長を訪問し、  
要望の趣旨等を説明した上  
で提出しました。



皆川市長からは、各要望  
に対する市の取り組みの現  
状と今後の展望等について  
話があり、その後、活発な  
情報交換が行われました。  
農業委員会では、今後も  
地域農業を守るため、農業  
者の皆さんが意欲と希望を  
持つて農業に取り組めるよ  
う活動していきます。

## 前会長 三浦伸一氏 平成30年秋の叙勲「旭日単光章」受章

平成30年秋の叙勲が発表され、本市農業委員会前会長の三浦伸一氏が旭日単光章を受章されました。三浦氏は平成5年に農業委員に就任され、平成20年からは会長を務めて、市の農地行政、農業振興に尽力されました。また、山形県農業会議副会長や農業委員会庄内地方協議会会長を務めるなど、本市のみならず県内外の農政、農業振興にも幅広く活躍されました。

受章おめでとうございます。



前 鶴岡市農業委員会 会長  
三浦 伸一 氏